

## ■施工手順

### 1. 下地の調整

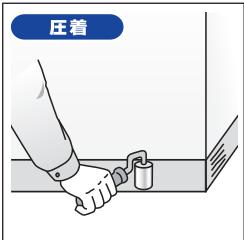


- ①汚れ防止加工やフッ素樹脂加工などされた壁紙、凹凸の大きい壁紙の場合は、表層を剥がし平滑にする。
- ②露出しているモルタル下地表面が弱い場合、珪酸カルシウム板下地など吸い込みの大きい下地の場合は、「フロアシーアップ」を塗布・乾燥する。
- ③下地の突起物がある場合は、スクレイパー やサンダー等で削りとる。
- ④下地に凹みがある場合は、下地に適したパテで平滑にする。

### 2. ソフト巾木の張り付け

- ビニルクロス、モルタル、合板などの下地
- ①アクリル樹脂系エマルション形接着剤「プラゾール水性巾木糊スーパー」を、下地に巾木スプレーダーで塗布後、所定のオープンタイムをとる。
- ②ビニル巾木を張り付け、ハンドローラー等で圧着する。
- ③出隅や入隅等巾木のコーナー部の張り付けは、ヒートガン等で巾木を暖め、出隅や入隅の型を付けてから張り付ける。浮きが生じた場合は、瞬間接着剤を浮いた部分に注入して抑える。
- ④ビニル巾木を張り付け後、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用は避け、換気をよくして養生する。

※巾木のコーナー部分等、強い初期接着力が必要な部分の張り付けに、合成ゴム系溶剤形接着剤「プラゾール速乾マイルド」を使用して張り付ける方法でも施工可能です。この場合、接着剤は下地と巾木の両面に塗布し、十分に乾燥させ、手に付かなくなつてから巾木を張り合わせてください。



### ※備考

- (1)巾木及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2)巾木は、反りなどが生じない様平滑な場所で保管してください。
- (3)冬季や低温時は、ジェットヒーター等で採暖を取り、10℃以上にして施工を行ってください。
- (4)巾木スプレーダーの高さは、巾木の高さに合わせて折り取り、接着剤のはみ出しなどを確認して、再度カッターで切り取り高さを微調整してください。
- (5)施工後、急激な温度変化が生じると、巾木が伸縮し、目透きや突き上がりが発生し易いのでご注意ください。
- (6)巾木のすき間補修には、床用コーティング剤「アースコーカー」をご使用ください。

### ■使用商品（施工m<sup>2</sup>数）



#### ●フロアシーアップ

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
291-112	4kg(x4)	80m <sup>2</sup> /4kg (2倍希釈)

セミルアリビドの効率等級

F★★★★



#### ●プラゾール水性巾木糊スーパー

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
282-442	3kg(x4)	10cm巾で80m/3kg

JIS-F★★★★



#### ●プラゾール速乾マイルド

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
221-012	3kg(x6)	7m <sup>2</sup> /3kg

JIS-F★★★★

### ■注意事項

- ①「プラゾール速乾マイルド」を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ②仕上りしろは5mmみてください。
- ③巾木及び下地の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で施工を行ってください。
- ④使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。